

## 2015 年度 A O 入試課題(経済学部・A 方式)

◇ 課題の作成に当たっては別紙の注意事項に従い、作成してください。

### 課題

二つの課題文のうち、一つを選択してください。選択した課題文をよく読んでください。その後、その要約、近年の動向、あなたの考えなどの下記の設問に答えてください。

課題文 1 松谷 明彦「人口流動の地方再生学」日本経済新聞社 p13-17、p21-26

(「第 1 章 誰が地方を衰退させたか」の「地方衰退の原点」(p13-17)、「核都市が健全であれば地方の姿は違っていた」(p21-26))

課題文 2 西川 潤「新・世界経済入門」岩波新書 p50-68

(第 2 章 貿易とさまざまな協定)

### 課題文 1

(1) 課題文の要約を 1200 字以内でまとめなさい。

(2) 総務省が公表している国勢調査から北海道の平成 17 年と 22 年の人口と、この間の人口減少率をそれぞれ調べて答えなさい。また、調べた本あるいはホームページも同時に答えなさい。

**キーワード：北海道 人口 国勢調査**

(3) 北海道の市町村の多くは、経済の停滞とそれに伴う人口の減少に苦しんでいます。あなたはこの問題に対処するためにはどのような方策が必要と考えますか。あなたの考えを 600 字以内でまとめなさい。

### 課題文 2

(1) 世界の貿易自由化の流れについて (p57-68 の内容) の要約を 1200 字以内でまとめなさい。

(2) 内閣府が公表している「国民経済計算」から、日本の平成 24 年 (2012 年) 度の財貨・サービスの輸出、財貨・サービスの輸入をそれぞれ調べて答えなさい。また、調べた本あるいはホームページも同時に答えなさい。

**キーワード：国民経済計算確報 国内総生産勘定**

(3) 課題文では、第二次世界大戦後、世界中で貿易の自由化が進展していると書かれていますが、日本では現在 TPP などの貿易自由化に反対する意見も数多く聞かれます。貿易自由化の問題点の中で、あなたが重要だと思うものを 1 つ挙げ、それについて 600 字以内にまとめなさい。

## 作成上の注意事項

課題を作成するに当たっては以下の注意事項を守って作成してください。注意事項は裏面にもあります。

### 全体を通して

1. 作成に当たって、レポート用紙への記入は「手書き」でも「ワープロで作成したものを貼り付ける」のどちらでもかまいません。ワープロで作成した文書をプリントアウトして貼り付ける場合は、はがれないようにしっかりとのり付けしてください。
2. 課題に取り組む際には、インターネットや新聞・雑誌・本などで課題文にある内容について調べてください。ただし、これらの文章を書き写した(盗作した)場合は厳重なペナルティを課します。あくまでも自分の言葉で書いてください。

### 課題に関して

3. (1) の課題において、要約とは、課題文の要点を書き出すのではなく、短くまとめることを指します。単なる書き写しではなく、できるだけ自分の言葉で 1200 字以内にまとめてください。
4. (2) の課題については設問に記されている文献かインターネットで調べてください。インターネットで調べる際には、設問の下にあるキーワードを検索サイトなどで検索すると調べることができます。調べた文献またはホームページを 6 の参考文献の記入例に沿って記入してください。
5. (3) の課題については課題文を読んで、設問に対するあなたの考えを 600 字以内でまとめてください。この設問に対する解答は一つだけではありません。自由な発想であなたが考えたアイデアとその理由をまとめてください。
6. 課題を行うに当たって用いた資料を参考文献欄に必ず記入してください。記入の仕方は以下の通りです。  
(新聞の場合) 『北海道新聞』 2009年12月31日付朝刊  
(図書の場合) 平澤亨輔他著, 『拓銀破綻後の北海道経済 : 地域再生と金融の役割』, 日本経済評論社, 2008 年  
(教科書の場合) 『政治・経済』, 三省堂  
(HPの場合) 環境省「環境経済成長ビジョン～チャレンジ 25 を通じた経済成長～」  
<http://www.env.go.jp> (ホームページアドレスは” …… .jp” までを記入すること)

### 課題に関する質問の受付

7. 課題に関して質問がある場合、一度だけ受け付けます。レポート課題について、教員への直接問い合わせたい場合は、9月16日(火)から9月19日(金)までの期間に下記のメールアドレスに質問をしてください。なお、問い合わせ方法は、メールのみとします。件名欄に「AO課題の質問」として、本文に質問内容を記入してください。

問い合わせ先 : **htaka@sgu.ac.jp**

※経済学部の高橋が対応します。大学研究室のパソコンで使っているアドレスです。携帯電話からのメールの場合、パソコンからのメール受信を拒否する設定をしていると、高橋からのメールを受信できませんので設定を変更してください。